

<今日の説教のポイント ルカによる福音書 23 章 56b 節-24 章 12 節 >

1 不思議な復活の出来事 — その意味が分かる時に全ては変わる。

キリスト者はなぜ荒唐無稽に思えるイエス様の復活を信じるのでしょうか。聖書は、イエス様と共にいた婦人たちも弟子たちも最初は信じなかった、と記しています。では、その後なぜ信じたのでしょうか。復活されたイエス様に出会ったから？ 確かにそうです。しかし、二千年後の今も信じる人がいるのはなぜでしょうか。それは、イエス様が復活された理由あるいは意味を理解したからです。

2 神様が遣わされた天使の言葉に聞くことが大事。

この出来事は神様が起こされた出来事です。だとするならば、私たちがその意味を知るためには神様が遣わされた天使(4)の言葉に聞く必要があります。彼らは、イエス様から聞いたことを「思い出しなさい」と語っています。そうです、実はイエス様からすでに聞いていたのです。しかし、その時はまだ理解できなかったのです(9:22, 18:33)。

3 復活したのは十字架にかかって死なれたお方。

思い出した内容は、「人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている(神の必然)」(7)です。それは神様があることのために起こされる出来事であり、それが今起こされたのです。それはイザヤ書 53 章ですすでに預言されていました。すなわち、「私たち人間の罪を神様が赦して下さるために、主の僕がその罪の苦しみを担う」という神様の破格の恵みの出来事でした。しかし、イザヤ書の預言にはない新しい内容がここには加わっています、その主の僕が復活するという内容です。なぜ神様はこれを加わられたのか？ それはこの後復活されたイエス様に出会っていく弟子たちを見ると明らかです。イエス様が死んで絶望していた彼らは、復活したイエス様と出会い、新たな生を歩み出す希望を与えられていったからです。イエス様の復活、それは弟子たちに、「この神様を信じて生きていけばいいのだ」という確信を与える理由となり、あるいはそういう意味を持っていたのです。ですから、キリスト者はただ「死んだ人が蘇る」ことを信じているのではないのです。これだけの理由を持っている十字架にかかって死なれたお方の復活を信じるのです。戸惑いながら信じる者となっていく彼らは私たちの姿でもあるのです。